

NEXT21 自然のたより・3月



2012 年 3 月

日本野鳥の会大阪支部



エコロジカルガーデン

シジュウカラのさえずりが聞こえた 2 月 24 日、NEXT21 住宅や屋上庭園の見学会に参加しました。

途中、空中街路から見た 1 階～地階に広がるエコロジカルガーデン、今の季節、緑は少ないものの蛇行した水路の水面や石積みが光って見えました。

1. 春を待つ木の芽

NEXT21 にある春を待つ木の芽6種を集めてみました。
冬の間、厚い鎧(芽鱗)に包まれていた木の芽は、暖かさが
増すとともに一枚一枚鎧を脱ぎ、つぼみが膨らみ、ついには
花びらが顔を出すのは3月下旬～4月、次々に花が咲く、爛
漫の春が近づいている。



2. ジンチョウゲ・ジンチョウゲ科

樹形：常緑低木

花：3月(赤色・白色)

場所：エコロジカル
ガーデン

特徴①：花の香り ジンチョウゲには強い香りがあり、遠くからでもジンチョウゲのいることがわかる花である。一般に花の香りは花粉を媒介してもらう昆虫を呼ぶためのしくみであると思っているが、ジンチョウゲに昆虫が来ているのをあまり見ていないので、ジンチョウゲの香りを好む昆虫のことはわかっていません。



特徴②：名前の由来 ジンチョウゲ(沈丁花)という名前は、香木の「沈香」のような良い匂いがあり、「丁子(ちょうじ＝同じく香木)」のような形の花をつけるとしてつけられたそうである。

匂いのある二種の名前をついでいるだけにジンチョウゲの香りは強く、「香りの成分として145もの成分」が同定されているとのことである。しかし、主成分はシトロネロール、ゲラニオール(バラの香り)など、ごく普通の化合物で、ジンチョウゲ特有の香りの成分は特定されていないとのことである。

3. マンサク・マンサク科



樹形: 落葉小高木～

低木

花 : 2～3月

場所: エコロジカル
ガーデン

特徴①: 名前の由来 枝いっぱいには花を咲かせるので満作、または早春に花が咲くことから「まず咲く」がなまったとも言われている。

早春、葉が出る前、時には去年の枯葉が残っているときに、短冊形の花びらを出して咲き始めるが、時には初冬 12 月に、小春日和の日ざしを受けながら花が咲いていることがある。

特徴②: 早春に咲く花は黄色が多い? 春に黄色い花が目立つが、その理由として、「まだ気温が低い早春は、活動する昆虫の種類数が少ないので、多くの昆虫に好まれる黄色の花が多いのでは」と言われている。

真冬のロウバイから始まり、早春のマンサク・サンシュユ・トサミズキなど、黄色い花が沢山ある。

早春は昆虫の動きが活発でなく、しかも種類数も少ない特定の昆虫と結びつきが少ない黄色い花のほうが有利とも言われている。しかし、野草のオオイヌノフグリ・ホトケノザなど赤紫色の花も良く見るので、木と草、山地と平野部など、いろいろな要因があるのでしょうか。

4. キヅタ・ウコギ科

樹形：常緑つる性

花：10～12月

実：5～6月

場所：空中街路
(2～5階)

特徴①：NEXT21の幹

左の写真のように
キヅタは2階
～5階まで葉を
広げ、NEXT21を支
える幹のように
見える。

自然界では茎や
枝から気根を出し、高木や岩の上をよじ登っている。



特徴②：キヅタの実

緑の葉が目立つキヅタに
は沢山の黒い実=液果が
生っている。

これから実が熟する時期
に NEXT21周辺に住む
野鳥は多くないが、ヒヨドリ
などが実を食べに来る
と思われる。

